

No.	部品名	材質(記号)	No.	部品名	材質(記号)
1	本体	CAC902	15	PV配管用ニップル	SUS303
2	カバー	CAC902	16	PV配管用ニップルナット	鉛レス黄銅棒
3	排水キャップ	CAC902	17	PV配管用ニップルパッキン	NBR
4	ガイド	CAC902	18	PV配管用継手	CAC902C
5	ピストン	CAC902	19	カバー用Oリング	NBR
6	ワン型パッキン押え	鉛レス黄銅棒	20	シートパッキン	NBR
7	リング	PC樹脂/CAC902C	21	排水キャップ用Oリング	NBR
8	調節弁	CAC902C	22	スプリング	SUS304
9	調節ビス	鉛レス黄銅棒	23	流量調整スピンドル	鉛レス黄銅棒
10	調節ビス用ナット	鉛レス黄銅棒	24	スピンドル用Oリング	NBR
11	ワン型パッキン上用	布入り合成ゴム	25	E型止め輪	SUS304
12	ワン型パッキン下用	NBR	26	ロックナット	SUS304
13	調節弁用ストレーナ	SUS304	27	保護キャップ	PVC
14	ストレーナ押え	鉛レス黄銅棒	28	バキュームブレーカ	鉛レス黄銅棒/SUS304/PS

※PVはパイロットバルブ

ピストン式交換手順

※ 本紙記載の「ピストン式」と「ピストン部」は同一のものを指しています

F号ボールタップ<ねじ込み式> 25・40・50mm

ピストン部交換作業の前に必ずお読みください

取扱い上の注意事項

- このピストン部に使用しているワン型パッキンの材質は、上側が布入り合成ゴム、下側がNBRとなっております。ワン型パッキン交換の際には上下お間違いないよう注意してください。
- ピストン部挿入前にワン型パッキン上用及びワン型パッキン下用の外周部分に付属のグリスを塗布してください。
- 交換用ピストン部は全数製品検査を実施の上、検査合格品だけを出荷しております。

お買い上げの製品または、この手順書の内容についてのご質問や、アフターサービスのご依頼については、下記までご連絡なくお問い合わせください。

ISO 9001 品質マネジメントシステム審査登録
ISO 14001 環境マネジメントシステム審査登録



株式会社 アイエス工業所

〒536-0013 大阪市城東区嶋野東3丁目5番13号

電話 06-6961-2488

FAX 06-6961-7326

E-mail : info@is-jp.com

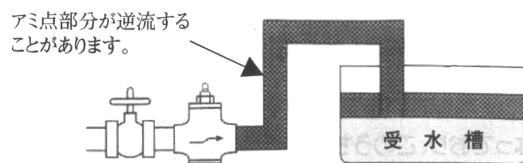
https : //www.is-jp.com

下記の手順で交換してください。

① 制水弁（止水栓）を閉める。

制水弁（止水栓）を開けたまま作業をするのは大変危険ですので、忘れないよう必ず閉めてから作業を行ってください。

また、下図のような立ち上り配管の場合は、水が逆流してピストン部が飛び出すことがありますので、注意してください。特に2次側給水管が水没してサイフォン現象を起こすような場合は、排水等で水位を下げてサイフォン現象を回避してから作業を行ってください。



② 上部カバーを取りはずす。

上部カバーにはOリングが付属しています。紛失しないよう注意し、劣化・損傷がある場合は交換してください。

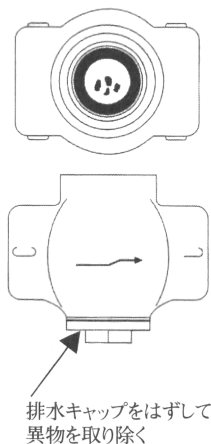
流量調整機能がない旧タイプは、PE製のカバーパッキン（白色）が使用されています。流量調整機能付タイプとはパッキンの種類が異なりますので注意してください。

③ ピストン部を取り出す。

ピストン部を取り出した後、新しいピストン部を挿入する前に、次のことを行ってください。

- A. 本体内に異物が混入していないか確認する。
さび等の異物が本体内に混入すると本体底部に残留します。（図参照）残留した異物は、排水キャップをはずして、取り除いてください。
- B. 本体シリンダ部を清掃する。
本体シリンダ部に付着している水あかなどをきれいな布でふき取ってください。固着して布ではふき取れない水あかや、細かい傷などはサンドペーパー（＃800以上）を用いてシリンダ面が滑らかになるよう取り除いてください。

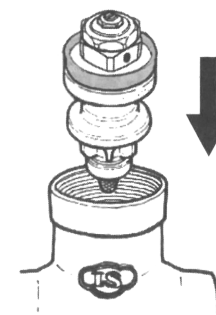
※サンドペーパーをご使用の場合、シリンダ部に沿って水平方向に清掃してください。



④ 新しいピストン部を挿入する。

ピストン部は正しい方向に挿入してください。（右図参照）逆さまに挿入すると取り出せなくなります。

※交換部品としてご購入いただいたピストン部には、グリスが同梱されておりま。ピストン部挿入前にワン型パッキン上用及びワン型パッキン下用の外周部分にグリスを塗布してください。



⑤ 上部カバーを取り付ける。

Oリング（またはカバーパッキン）が正しく装着されているか確認してから取り付け、しっかり締め付けてください。

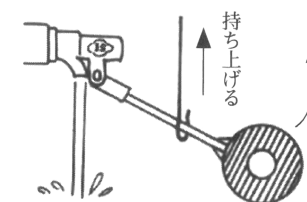
⑥ 制水弁（止水栓）をゆっくり開く。

受水槽内が満水状態にある場合は、排水またはポンプ起動によって水位をいったん下げたから開栓してください。

⑦ パイロットバルブから水が出したら、ロッドを軽く持ち上げて主弁が異常なく閉止するか確認する。

パイロット配管に空気が溜まっていたり、配管の状況によっては止水時間が長くなる場合があります。

※パイロット配管にテストバルブを設けている場合は、それを閉じてテストしてもかまいません。



⑧ 通常運転の状態で、正常に主弁が閉止するか確認する。

ピストン部を交換しても止水しない時は、次の調整を行ってください。

- 流量調整スピンドルを1/2回転程度ねじ込んでテストしてください。正常に止水するまで1/2回転ずつねじ込んでテストしてください。



● ピストンの交換作業が完了したら、以下のことを確認してください。

- ① 制水弁（止水栓）が全開になっているか。
- ② パイロット配管のテストバルブが全開になっているか。
電磁弁併用でバイパス配管がある場合は、各バルブが通常の状態になっているか確認してください。
- ③ その他のバルブ（連通管、サクション等）が通常の状態になっているか。
- ④ ポンプの運転スイッチが自動または自動交互になっているか。
- ⑤ 各種警報が通常の状態に復帰しているか。